

# 川崎市みどりの共創プロジェクト 体験・学習×みどり

学べるコミュニティとネットワーク化 ～みどりを通じて"みんな"いきいき！はぐくむ川崎愛！～

2023年3月1日

G3 体験・学習×みどり チーム

---

# 高まる自然、生物多様性への世界的な潮流



国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）では、2030年までに地球上の陸域、海洋・沿岸域、内陸水域の30%を保護する30by30が合意された。食料廃棄を半減させることも目指している

ビジネス界においても、企業が自然に関係するリスクと機会を評価し、開示するためのフレームワークである「TNFDフレームワーク」が策定中であり、大企業だけでなく、中小企業も対応を求められる可能性も

川崎市においては、生物多様性かわさき戦略（2022～2030年度）が策定されている

## ワークショップでの議論内容（～2回目）

|                  |   |  |   |
|------------------|---|--|---|
| <b>未来ビジョン</b>    | 緑（農業体験）を通して<br>交流し、つながり、循環させ、<br>みんな生き生き    | 海や川のきれいさを<br>守ってきたい  | 子供も大人も地球の持続<br>可能性について自然と<br>考えている社会          |
| <b>リソース</b>      | 都市農業センター・JA等<br>学校 農家・市民<br>公園 市民農園<br>生産緑地 | 川（多摩川河口域）<br>海<br>埋立地（扇島）                                  | 多摩川河川敷<br>学校 緑地<br>公園 ガイド・先生<br>GIGAスクール      |
| <b>チャンス</b>      | 地産地消・フードマイル<br>SDGs 農業×ICT<br>教育課程との関連      | 定住人口の増加傾向<br>マリンアクティビティ需要UP<br>→ シーカヤック・サップ・<br>ウィンドサーフィン等 | 工場 DX<br>企業が多い → 官民連携<br>生物多様性                |
| <b>障害・阻害要因</b>   | アレルギー<br>法令<br>関係 利用可能<br>面積                | 航路 立地<br>横浜など他地域との差別化<br>人が集まることによる汚れ                      | 予算 緑の偏在<br>学習環境の整備<br>親もゲーム世代<br>市民に参加してもらえるか |
| <b>取り組むべきテーマ</b> | 親子で野菜を育てて食べる<br>都市農業体験 農業ファーム               | 川崎の海・川に触れ合う・<br>親しむ場を設ける                                   | 学校授業に環境・生物多様性<br>学校緑化 緑の中の学習塾                 |

# ワークショップでの議論内容（3回目）

## 未来ビジョン

緑（農業体験）を通して  
交流し、つながり、循環させ、  
みんな生き生き

海や川のきれいさを  
守っていききたい

子供も大人も地球の持続  
可能性について自然と  
考えている社会

## リソース

都市センター・JA等

多摩川河川敷

学校

緑地

公園

ガイド・先生

GIGAスクール

■ 未来ビジョン：  
子供も大人も地球の持続可能性に  
ついて自然と考える社会

## チャンス

地産地消・フードマイル

定住人口の増加傾向

工場

DX

SDGs

農業×ICT

マリンアクティビティ需要UP

企業が多い → 官民連携

教育課程との関連

■ 取り組むべきテーマ：  
学べる拠点のネットワーク化

## 障害・阻害要因

アレルギー

- 大きな拠点のみではなく、小さな拠点を含めてネットワーク化していく
- 新たなプログラムのプランニングを実施する
- 既存施設・プログラムも活用し、一過性ではない持続性のある体験プログラムを推進する

法令  
関係

利用  
面

## 取り組むべきテーマ

親子で野菜を育てて食べる

川崎の海・川に触れ合う・  
親しむ場を設ける

学校授業に環境・生物多様性

都市農業体験

農業ファーム

学校緑化

緑の中の学習塾

## 提案する事業（事業概要）

|              |  |
|--------------|--|
| <b>提案事業名</b> | 学べるコミュニティとネットワーク化<br>～みどりを通じて"みんな"いきいき！はぐくむ川崎愛！～   |
| <b>事業内容</b>  | <p>核となる新規プログラム（生物多様性に配慮した農法を活用）を既存の体験学習プログラムと掛け合わせ、<b>みどりの重要性を一気通貫で学べるプログラム</b>の提供を行う。</p> <p><b>&lt;新規プログラムの作成&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 大学など様々な農法を研究している団体と協力し、小学校及び公園にて、小学生や関心のある地域住民向けに、<b>生物多様性に配慮した農業体験</b>を実施。</li><li>➤ 実際に体験しながら、私たちの生活・食を支える農業と環境の関係や生態系について学ぶコンテンツも提供。</li><li>➤ 収穫物をふるまったり、販売したりするイベントも開催し、より多くの市民を巻き込む。</li><li>➤ 日々の管理は小学生及び地域住民が行い、<b>市民主体による継続的な活動</b>とする。</li></ul> <p><b>&lt;既存プログラムとの連携&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 「川崎環境ポータルサイト」をプラットフォームとして活用し、既存のプログラムと連携し、川上から川下まで環境について総合的に学べるプログラムをとりまとめる。</li></ul> <p><b>&lt;社会インパクト評価と民間資金活用&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 事業全体及び各プログラムにおいて、社会インパクト評価を実施することにより、環境への関心度等を計測し今後のプログラムに活かすとともに、PFS/SIBの可能性も検討する。</li></ul> |

# 提案する事業（全体イメージ）

## 学べる拠点のネットワーク化

※プロジェクトマネージャーの不在

### 既存プログラムとの連携

- 既に市内各地で取り組まれているプログラムと連携し、一気通貫で学べる環境プログラムを提供

### 既存プログラム

各学校の  
取組

各地区の  
取組

企業の  
取組

自治体の  
取組

### 川崎環境ポータルサイト

- 体験プログラムをまとめるプラットフォームとして活用
- 環境について総合的に学べるプログラムを提供

### 新規プログラム

#### 農業体験

「農を通じて地球環境について考える体験学習プログラム構築事業」

大気や水

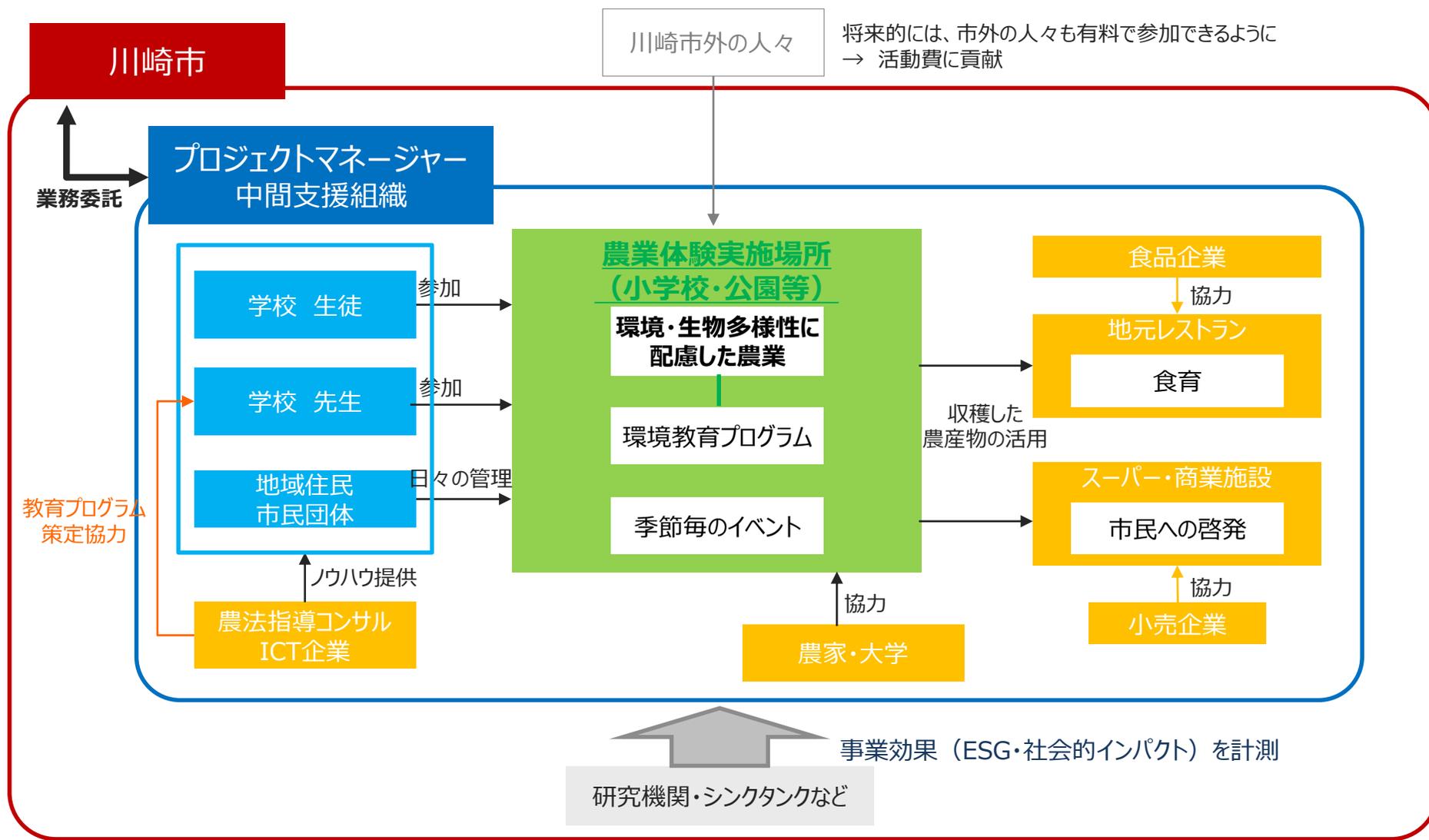
生物  
多様性

脱炭素

社会インパクト評価/  
民間資金の活用

- 事業全体or各プログラムにおいて評価を実施

# 提案する事業（新規プログラムのスキーム図）



## 提案する事業（事業効果）

### 事業効果

#### 体験を通じて緑の重要性を学ぶことで、環境に対する意識向上・行動変容に繋がる

- SDGs や生物多様性への関心が高まり、理解が進む
- 地域住民をはじめ、地域の様々な企業も巻き込みながら取組を継続することで、新たなコミュニティ形成に繋がる
- 川崎に対する地域愛が高まる



### 社会インパクト評価

#### これらの効果を、「社会的インパクト」として測定

- 今後、さらに効果的な事業を行っていくためのエビデンスとしても活用

## 提案する事業（スケジュール・課題）

### 事業スケジュール

#### ■ R5：FSの実施

- ✓ 上期・・・農業体験プログラム（教育プログラム含む）の検討、協力者への声掛け
- ✓ 下期・・・コンソーシアムの形成準備

#### ■ R6：ポータルサイトとの連携開始、プログラムの実施スタート

### 事業実現にあたっての課題

#### ① プロジェクトマネージャーの不在

- 関係者を取りまとめ、事業を継続的に推進するプロジェクトマネージャーを見つける必要あり
- 実際に関連する取組をされている方にヒアリングしながら、理念を理解いただくことが大事

#### ② 資金の確保

- 地域において、住民主体の取組として実装していくためには、安定的な予算の確保が必要